FA7100

令和 0□ 年分収支内訳書（農業所得用）

（あなたの本年分の農業所得の金額の計算内容をこの表に記載して確定申告書に添付してください。）

提出用（令和二年分以降用）

この収支内訳書は機械で読み取りますので、黒のボールペンで書いてください。

住所		業種名		依頼税理士等	事務所所在地	
フリガナ 氏名		農園名			氏名（名称）	
		電話番号			電話番号	

令和　年　月　日　（自　月　日　至　月　日）

整理番号

科目			金額（円）	科目			金額（円）
収入金額	販売金額	①		経費 その他の経費	修繕費	リ	
	家事消費事業消費金額	②			動力光熱費	ヌ	
	雑収入	③			作業用衣料費	ル	
	小計（①＋②＋③）	④			農業共済掛金	ヲ	
	農産物の棚卸高 期首	⑤			荷造運賃手数料	ワ	
	農産物の棚卸高 期末	⑥			土地改良費	カ	
	計（④－⑤＋⑥）	⑦				ヨ	
経費	雇人費	⑧				タ	
	小作料・賃借料	⑨				レ	
	減価償却費	⑩				ソ	
	貸倒金	⑪			雑費	ツ	
	利子割引料	⑫			農産物以外の棚卸高 期首	ネ	
	その他の経費 租税公課	イ			農産物以外の棚卸高 期末	ナ	
	その他の経費 種苗費	ロ			経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用	ラ	
	その他の経費 素畜費	ハ			小計（㋑～㋭までの計－㋬）	⑬	
	その他の経費 肥料費	ニ		経費計（⑧～⑫までの計＋⑬）		⑭	
	その他の経費 飼料費	ホ		専従者控除前の所得金額（⑦－⑭）		⑮	
	その他の経費 農具費	ヘ		専従者控除		⑯	
	その他の経費 農薬衛生費	ト		所得金額（⑮－⑯）		⑰	
	その他の経費 諸材料費	チ		⑰のうち、肉用牛について特例の適用を受ける金額			

○雇人費の内訳

氏名・住所又は作業名	日数	現金 現物	合計	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
	延日	円	円	円
その他（　人分）				
計			⑧	

○小作料・賃借料の内訳

支払先の住所・氏名	小作料、賃耕料等の別	面積・数量	支払額
		a・kg	円

○事業専従者の氏名等

氏名（年齢）	続柄	従事月数
（　歳）		月
（　歳）		
（　歳）		
（　歳）		
	延べ従事月数	

【税務署整理欄】

Ⓑ

⑨⑨

整理番号

FA7150

（令和二年分以降用）

○収入金額の明細

農産物等の種類品名等		作付面積（飼育頭羽数）	販売金額	家事消費事業消費金額	農産物の棚卸高 期首 数量	期首 金額	期末 数量	期末 金額
田		a	円	円	kg	円	kg	円
畑								
	Ⓐ小計							

農産物等の種類品名等		作付面積（飼育頭羽数）	販売金額	家事消費事業消費金額	農産物の棚卸高 期首 数量	期首 金額	期末 数量	期末 金額
特殊施設		㎡	円	円	kg	円	kg	円
	Ⓑ小計							
農産物計（Ⓐ＋Ⓑ）		耕作面積 a				⑤		⑥
畜産物その他		頭羽						
	Ⓒ小計							
合計（Ⓐ＋Ⓑ＋Ⓒ）			①	②				

雑収入の内訳 区分	金額
	円
合計	③

○減価償却費の計算

減価償却資産の名称等（繰延資産を含む）	面積又は数量	取得（成熟）年月	㋑ 取得価額（償却保証額）	㋺ 償却の基礎になる金額	償却方法	耐用年数	㋩ 償却率又は改定償却率	㋥ 本年中の償却期間	㋭ 本年分の普通償却費（㋺×㋩×㋥）	㋬ 特別償却費	㋣ 本年分の償却費合計（㋭＋㋬）	㋠ 事業専用割合	㋡ 本年分の必要経費算入額（㋣×㋠）	㋢ 未償却残高（期末残高）	摘要
		年 月 ・	円 （ ）	円		年		月 12	円	円	円	%	円	円	
		・	（ ）					12							
		・	（ ）					12							
		・	（ ）					12							
		・	（ ）					12							
計													⑩		

（注） 平成19年４月１日以後に取得した減価償却資産について定率法を採用する場合にのみ㋑欄のカッコ内に償却保証額を記入します。

○果樹・牛馬等の育成費用の計算（販売用の牛馬、受託した牛馬は除きます。）

果樹・牛馬等の名称	取得・生産・定植等の年月日	㋑ 前年からの繰越額	育成費用の明細 ㋺ 本年中の種苗費、種付料、素畜費	㋩ 本年中の肥料、農薬等の投下費用	㋥ 小計（㋺＋㋩）	㋭ 育成中の果樹等から生じた収入金額	㋬ 本年に取得価額に加算する金額（㋥－㋭）	㋣ 本年中に成熟したものの取得価額	㋠ 翌年への繰越額（㋑＋㋬－㋣）	㋺、㋩、㋭の欄の金額の計算方法
		円	円	円	円	円	円	円	円	
計					㋒					

◎本年中における特殊事情

令和 0□ 年分収支内訳書（農業所得用）

（あなたの本年分の農業所得の金額の計算内容をこの表に記載して確定申告書に添付してください。）

控用

記帳と帳簿書類の保存義務について

事業所得（農業所得）、不動産所得又は山林所得を生ずべき業務を行う方は、平成26年1月から、記帳と帳簿書類の保存が必要となりました。

○ 帳簿を備え付けて、収入金額や必要経費について、取引の年月日や金額等を記帳しなければなりません。

○ 帳簿や請求書・領収書などの書類を整理して保存しなければなりません。

住所		業種名		依頼税理士等	事務所所在地	
フリガナ 氏名		農園名			氏名（名称）	
		電話番号			電話番号	

令和　年　月　日

（自 □□ 月 □□ 日 至 □□ 月 □□ 日）

整理番号 □□□□□□□□

科目			金額（円）	科目			金額（円）
収入金額	販売金額	①		経費	修繕費	リ	
	家事消費事業消費金額	②			動力光熱費	ヌ	
	雑収入	③			作業用衣料費	ル	
	小計（①＋②＋③）	④			農業共済掛金	ヲ	
	農産物の棚卸高 期首	⑤			荷造運賃手数料	ワ	
	農産物の棚卸高 期末	⑥			土地改良費	カ	
	計（④－⑤＋⑥）	⑦				ヨ	
経費	雇人費	⑧				タ	
	小作料・賃借料	⑨				レ	
	減価償却費	⑩				ソ	
	貸倒金	⑪			雑費	ツ	
	利子割引料	⑫			農産物以外の棚卸高 期首	ネ	
	その他の経費 租税公課	イ			農産物以外の棚卸高 期末	ナ	
	その他の経費 種苗費	ロ			経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用	ラ	
	その他の経費 素畜費	ハ			小計（イ～㉒までの計－㉓）	⑬	
	その他の経費 肥料費	ニ			経費計（⑧～⑫までの計＋⑬）	⑭	
	その他の経費 飼料費	ホ			専従者控除前の所得金額（⑦－⑭）	⑮	
	その他の経費 農具費	ヘ			専従者控除	⑯	
	その他の経費 農薬衛生費	ト			所得金額（⑮－⑯）	⑰	
	その他の経費 諸材料費	チ			⑰のうち、肉用牛について特例の適用を受ける金額		

○申告には、必ず 提出用 を使ってください。

○雇人費の内訳

氏名・住所又は作業名	日数	現金 現物	合計	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
	延日	円	円	円
その他（　人分）				
計			⑧	

○小作料・賃借料の内訳

支払先の住所・氏名	小作料、賃耕料等の別	面積・数量	支払額
		a・kg	円

○事業専従者の氏名等

氏名（年齢）	続柄	従事月数
（　歳）		月
（　歳）		
（　歳）		
（　歳）		
	延べ従事月数	□□

整理番号

○収入金額の明細

農産物等の種類品名等		作付面積(飼育頭羽数)	販売金額	家事消費事業消費金額	農産物の棚卸高 期首 数量	期首 金額	期末 数量	期末 金額
田		a	円	円	kg	円	kg	円
畑								
	Ⓐ小計							

農産物等の種類品名等		作付面積(飼育頭羽数)	販売金額	家事消費事業消費金額	農産物の棚卸高 期首 数量	期首 金額	期末 数量	期末 金額
特殊施設		㎡	円	円	kg	円	kg	円
	Ⓑ小計							
農産物計(Ⓐ＋Ⓑ)		耕作面積 a				⑤		⑥
畜産物その他		頭羽						
	Ⓒ小計							
合計(Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ)			①	②				

雑収入の内訳 区分	金額
	円
合計	③

○減価償却費の計算

減価償却資産の名称等(繰延資産を含む)	面積又は数量	取得(成熟)年月	㋑取得価額(償却保証額)	㋺償却の基礎になる金額	償却方法	耐用年数	㋩償却率又は改定償却率	㋥本年中の償却期間	㋭本年分の普通償却費(㋺×㋩×㋥)	㋬特別償却費	㋣本年分の償却費合計(㋭＋㋬)	㋠事業専用割合	㋡本年分の必要経費算入額(㋣×㋠)	㋷未償却残高(期末残高)	摘要
		年 月	円 ( )	円		年		月 12	円	円	円	%	円	円	
		・	( )					12							
		・	( )					12							
		・	( )					12							
		・	( )					12							
計													⑩		

(注) 平成19年４月１日以後に取得した減価償却資産について定率法を採用する場合にのみ㋑欄のカッコ内に償却保証額を記入します。

○果樹・牛馬等の育成費用の計算（販売用の牛馬、受託した牛馬は除きます。）

果樹・牛馬等の名称	取得・生産・定植等の年月日	㋑前年からの繰越額	育成費用の明細 ㋺本年中の種苗費、種付料、素畜費	㋩本年中の肥料、農薬等の投下費用	㋥小計(㋺＋㋩)	㋭育成中の果樹等から生じた収入金額	㋬本年に取得価額に加算する金額(㋥－㋭)	㋣本年中に成熟したものの取得価額	㋠翌年への繰越額(㋑＋㋬－㋣)	㋺、㋩、㋭の欄の金額の計算方法
		円	円	円	円	円	円	円	円	
計					㋒					

◎本年中における特殊事情

○この用紙は控用です。申告には、必ず提出用を使ってください。